

クロスカリキュラム

1 目的

学校設定科目『SSH 理科』を開講し、複数の教科の見方・考え方を働かせて課題を解決する「クロスカリキュラム授業」を実施し、段階的に全教科に展開することで、学際的な視点で課題を解決できる資質・能力を育成する。

2 概要

(1) 仮説

第Ⅲ期のクロスカリキュラムの実践を牽引役としながら、学際的な考え方により課題を解決する活動を実施する科目を開講し、段階的に全教科で学際的な取り組みを行うことで、「知の活用」の資質・能力をもつ生徒を育成できる。

(2) 内容・方法

以下のように学校設定科目を設置し、全校体制で「クロスカリキュラム」を推進する。

他教科・科目の教員2名以上で教材開発を行い、授業実践を行う。学校設定科目『SSH 理科』では既存の教材を教科のカリキュラムに位置付けるとともに、新たな教材の開発や既存の教材のブラッシュアップを行い、授業実践を行う。『SSH 理科』以外にも、クロスカリキュラムを本校の授業研修のテーマとして、全校体制で授業実践を行う。『SSH 理科』については、十分に教材開発が進み、1名の教員でも授業実践が可能と判断したテーマについては1名で授業を行う（一人クロス）。

教科横断の観点

- 1 「関連付け型」 **学習内容での横断**
ex. 三角関数（数学）波（物理）楽器（音楽）
- 2 「学際探究型」 **課題解決での横断**
ex. 「なぜロボットは生物に似ているのか」
物理と生物の見方・考え方を働かせて課題解決
- 3 「汎用スキル型」 **技術習得での横断**
ex. 「パラグライダー」の技術を
小論文、英文、科学論文を題材に横断的に習得



物理×数学

生物×国語

(3) 指導方法の工夫

①職員研修として全校体制での実践

授業研実施前に「クロスカリキュラム職員研修」を職員会議内で実施し、新任の教員も含めて共通理解を図った。本校では実践事例を「①関連付け型」「②学際探究型」「③汎用スキル型」の3つのパターンに分類して実践を行った。

指定された期間に他教科・科目の教員と組んで、「クロスカリキュラム授業」を実践した。授業者は授業実践日を事前に申告し、職員掲示板で共有した。各教員は、授業実践の内容を確認し、年間2回以上参観することとした。授業後には授業者、参観者、管理職が参加する授業研究会を実施し、授業の質の向上を図った。授業は動画で撮影し、職員間で共有することで、他の教員が授業を再現できるようにし、カリキュラム化を意識して取り組んだ。これまでのクロスカリキュラムの実践事例を元に、以下の3パターンに整理し、研修等で職員に周知することで、授業を構想、実践する際の見通しを良くした。また、授業作りのポイントとして、以下の4点を整理した。昨年度から継続して、職員研修資料と指導案を本校HPで公開し、成果の普及を図った。

授業作りのポイント

- ① 「いつもの授業」にゲスト出演ではなく、**授業そのものを他教科・科目の先生で再デザイン**
- ② **実社会や実生活から生じる「問い」を複数教科の見方・考え方で探究する場面を設定**
- ③ **問いは自由に設定。使う知識・技能は原則、高校の範囲で**
- ④ **課題研究とのつながりを意識した実践を**

②「活用」に重点を置いた実践

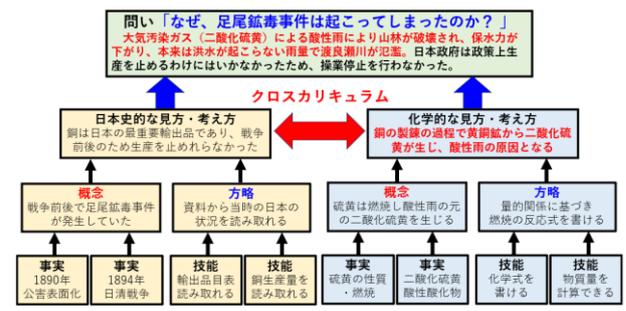
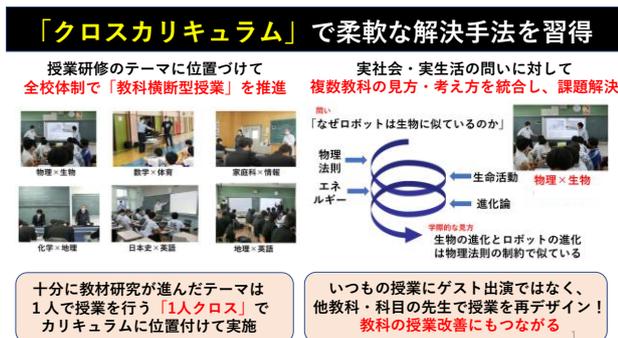
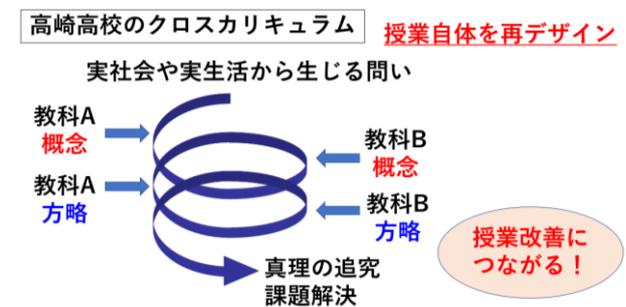
以前のクロスカリキュラムでは、例えば、物理と化学の気体分野を一度に扱い比較するなど、知識・技能の「習得」に重点を置いていたため、複数の教科・科目で実施時期を細かく調整する必要があった。また、授業内容についても、いつもの授業に他教科の教員がゲスト出演するパターンが多く授業改善にはつながっていなかった。

現在の本校におけるクロスカリキュラムでは習得・活用・探究のうち、「活用」を意識した取組となっている。ここでいう「活用」とは応用問題を解くことではなく、実社会や実生活から生じる「問い」に対して複数教科の見方・考え方を活用し、深めていくことを指す。3つのどのパターンの実践においても、現実に即した場面を設定し、複数の教科・科目の見方・考え方を活用して「問い」を深めていくような授業実践を目指している。「活用」をクロスカリキュラムの目的とすることで使用する知識・技能が既習済みであれば、実施時期を柔軟に設定することができる。また、クロスカリキュラムを通じて、授業そのものを他教科・科目の複数の教員が知恵を出し合って再デザインすることで、自身の授業を見直す機会となり、通常教科・科目の授業改善にも寄与している。



③クロスカリキュラムにおける概念と方略

学際探究型のクロスカリキュラムを構築する上では、交差する二つの教科における「概念」と「方略」を効果的に組み入れることが極めて重要である。ここで言う概念とは、各教科における個別の事実や知識の蓄積から導き出される本質的な考え方を指し、一方で方略とは、教科固有の技能を積み重ねることによって得られる課題解決へのアプローチ手法を意味している。これまでの実践事例を分析すると、単に複数の教科を並列させるのではなく、各教科特有の方略を適切に活用することによって、設定された「問い」を多角的に解決していく展開が共通して見られた。つまり、各教科の専門的な視点である概念と、実践的な手法である方略の双方を授業デザインに組み込むことこそが、教科横断的な学びを深化させる鍵となる。このように、両者の要素を有機的に結合させることで、質の高い学際探究型のカリキュラムが実現されていると言える。



④カリキュラムマップと実践事例一覧の作成

指定第Ⅲ期から第Ⅳ期までの本校の実践事例をまとめた「高崎高校クロスカリキュラム カリキュラムマップ」および「クロスカリキュラム実践事例一覧」を作成した。また、本校の実践事例の県内外教育関係者への普及を目的とし、令和6・7年度に「高崎高校クロスデイ～クロスカリキュラム公開授業・授業研究会～」を開催し、公開授業、授業研究会、基調講演を実施した。その詳細は、本報告書の「高崎高校クロスデイ」参照。



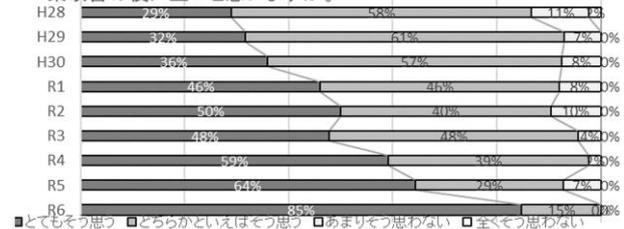
3 成果と課題

(1) 成果

ボトムアップ的なアプローチにより、実践事例が豊富に集まり、その中で実践パターンの分類と授業作りのポイントが整理できたことは大きな成果である。また、多数の実践事例をカリキュラムマップとしてまとめることで、どの時期が実施するにあたり適切な時期なのかを見通すことができるようになった。これはカリキュラムマネジメントにつながる成果である。

職員アンケートの結果とコメントは次のようになり、年々授業改善に役立つと考えている教員が増加した(とてもそう思う、第Ⅲ期1年目:29%→第Ⅳ期4年目:85%)。本校では、職員研修として位置づけることで、クロスカリキュラムに対し前向きにとらえていることがうかがえる。

(10) 高崎のSSH事業を通して、クロスカリキュラムや課題研究等に携わることは、通常の教科・科目の授業における授業改善の役に立つと思いますか。



<実施してみての感想(職員)>

- クロスカリキュラムの実施を通して得られた視点や着想、手法が、自身の授業にも非常に有用なものであるから。
- クロスカリキュラム授業を他の教員と共同実施することで、技術が向上した面がある。

(2) 課題

『SSH理科』以外では単発の実践に留まっておりで、十分なカリキュラム化には至っていないので、今後は、全体を俯瞰してカリキュラムマネジメントを行うことで目的の明確化、適切な実施時期、教科ごとのバランス等を考慮し、カリキュラムに位置づけていきたい。また、クロスカリキュラムの公開授業や研究会を継続開催することで、クロスカリキュラムの更なる質の向上や他校の参考となるモデル校としての役割を果たしていきたい。

高崎高校 クロスカリキュラム 実践事例概要一覧

コード	実施学年	実施時期	実施教科	実施内容	テーマ	実践概要	実践効果
00-01	3年	2学期	国語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-02	3年	2学期	英語	文化の視点から小説を分析する	文化の視点から小説を分析する	文化の視点から小説を分析する	文化の視点から小説を分析する
00-03	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-04	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-05	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-06	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-07	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-08	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-09	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-10	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-11	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-12	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-13	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-14	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する
00-15	3年	2学期	英語	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する	読者の視点から小説を分析する